

令和7年度 第1回印西市健康づくり推進協議会 会議録

1. 開催日時 令和7年5月22日(木) 午後2時から
2. 開催場所 印西市役所 別館 農業委員会会議室
3. 出席委員 岩谷委員、堀江委員、石橋委員、井ノ口委員、三崎委員、及川委員
高橋委員、渡辺委員、鈴木委員、東本委員、秋本委員、本間委員
4. 欠席委員 河北委員
5. 事務局 高平健康子ども部長、金森健康増進課長、青柳係長、橋居係長、日野原主任保健師、石丸主任栄養士、小塚子ども家庭課長、川村子ども家庭課課長補佐、小野田係長、酒井係長、海老原主任歯科衛生士、松本保健師、石井主事(記録)
6. 傍聴者 0名
7. 議事 議題

(1) 議案第1号

令和6年度印西市健康づくり推進協議会事業報告について

(2) 議案第2号

令和7年度印西市健康づくり推進協議会事業計画(案)について
報告

(1) 令和6年度保健事業実績及び令和7年度保健事業計画(令和7年度保健
業務運営指針)について

(2) 第3次健康いんざい21の策定について

(3) 第2次印西市自殺対策計画の策定スケジュールについて

8. 議事録 (要点)

議題(1) 議案第1号 令和6年度印西市健康づくり推進協議会事業報告について

(事務局): 「議案第1号 令和6年度印西市健康づくり推進協議会事業報告」資料に基づき説明。

(議長): 委員のみなさんからご質問はありますか。

(議長): ご質問がないようですので、採決を行いたいと思います。議案第1号、令和6年度印西市健康づくり推進協議会事業報告についてご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

【全員挙手】

(議長): 全員挙手をいただきましたので、議案第1号は承認されました。

議題(2) 議案第2号 令和7年度印西市健康づくり推進協議会事業計画(案)について

(事務局): 「議案第2号 令和7年度印西市健康づくり推進協議会事業計画(案)」資料に

基づき説明。

(議長)： 委員のみなさんからご質問はありますか。

ご質問がないようですので、採決を行いたいと思います。議案第2号、令和7年度印西市健康づくり推進協議会事業計画(案)についてご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

【挙手多数】

(議長)： 挙手多数ですので、議案第2号は承認されました。

報告(1) 令和6年度保健事業実績及び令和7年度保健事業計画(令和7年度保健業務運営指針)について

(事務局)： 「令和6年度保健事業実績報告」資料に基づき説明。

続けて、

「令和7年度保健事業計画(令和7年度保健業務運営指針)」資料に基づき説明。

続けて、事前に質問があったものについての説明、回答

(健康政策係)

質問1の行政組織図についてですが、もとの幼稚園は保育幼稚園課に所属となるのではないかと質問にお答えいたします。こちらにつきましては、業務上は保育幼稚園課となりますが、組織上は学務課所属となっているとのごとでございました。

次に、質問3の災害時保健活動マニュアルの整備状況等につきましては、当市の地域防災計画に基づくマニュアルとして、現在策定を進めている状況でございます。課題としましては、保健センターの移転に伴い、救護本部のあり方も含めて検討を進めている状況でございます。

また、いただいたご意見につきましては、ご指摘のとおり修正させていただきます。

(健康支援係)

(1) 食育推進事業では、令和6年度も幼児期の食育を中心とした食育関係者(主に保育士・保育園栄養士等)を対象とした食育講演会および意見交換会を開催しました。参加保育園や幼稚園の増加し、多くの方に参加いただくことができました。3ページ目から5ページ目までの各種健診事業につきまして、引き続きコロナ以前から、受診者数が戻りつつある状況です。

(4) がん検診事業では、大腸がん検診及び肺がん結核検診において集団検診の予約期間中の再受診勧奨を50歳と60歳の特定年齢に対して行ったのですが、受診者数としては減少してしまう結果となっております。

次の4ページをご覧ください。

③骨粗しょう症検診の受診結果の欄でございますが、要指導や要医療対象者が増加しております。これは、令和4年度から基準値をYAM値に変更したことが理由でございます。

次に5ページをご覧ください。

(6)①-1特定健康診査では、対象者数が減少していますが、受診率は維持しております。また、①-2後期高齢者健康診査では、対象者数が年々増加している中で受診率も増加しています。

続きまして6ページをご覧ください。

(7)後期高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施でございます。令和3年度から事業を開始している事業になります。開始時より個別支援は継続して実施しております。その他に一般対象者向けの事業として高齢者クラブや市内の団体等への講話を行っているのですが、75歳以上の高齢者の参加が多くなっています。

(感染症予防係)

8ページをご覧ください。

令和6年度乳幼児対象の定期の予防接種ですが、④ヒブワクチンにつきましては、⑦五種混合ワクチン(ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ・ヒブ)が承認されて開始、供給に応じて接種者数が減少しております。

また、令和6年度は、⑦五種混合ワクチン(ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ・ヒブ)と⑧四種混合ワクチン(ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ)と接種したワクチンが入り混じっております。

乳幼児対象の定期のそのほかの予防接種につきましては、高い接種率を維持できております。

続きまして、11ページをご覧ください。

令和6年度の新規事業・任意予防接種として、おたふくかぜ予防接種、小児インフルエンザ予防接種、帯状疱疹予防接種につきまして費用助成を実施いたしました。実績につきましては、資料をご覧ください。

令和4年4月より、子宮頸がんワクチンの積極的勧奨が再開し、あわせて、積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した、高校2年生から27歳までの方に、「キャッチアップ接種」として、令和6年度末までとのことで接種実施・勧奨してまいりましたが、引き続き、令和7年3月31日までに子宮頸がんワクチンを1回でも接種されている方につきましては、令和7年度末までの接種実施が延長されました。そのため未完了者につきましては、個別に「はがき」にて接種勧奨しております。

また、令和6年11月に感染症予防対策といたしまして、麻しん対策マニュアルを作成し、市内保育園全園に配付しております。

(子ども家庭課)

子ども家庭課事業の母子保健事業実績について説明させていただきます。

幼児健診については、令和5年度から健診受診率が新型コロナウイルス感染症流行前に戻ってきており、微増減はあるものの、令和6年度も同様の傾向でした。

1歳6か月児個別歯科健診ではむし歯の罹患率が0.1%と良好な状態となりました。令和6年度から今までの2歳児歯科健診に加え、1歳6か月児、3歳児健診の歯科健診でもフッ化物塗布を開始しましたので、今後罹患率がさらに低くなればと思っております。

3歳児健康診査では、眼科の精密検査件数が令和5年度のスポットビジョンスクリーナー導入により大きく増加しておりますが、これにより、斜視や弱視の発見につながっております。

⑦-1 育児相談の SNS 相談は令和6年1月に開始し、匿名での気軽な相談ができる体制となっております。電話相談については、SNS 相談や児童館への巡回相談等相談の機会が他にも整ったことで減少していると考えております。

⑦-2 ころころ相談については、ここ数年、複数回の誘い掛けにより何とか来所につながっておりましたが、令和6年度については初回誘い掛けのみとした結果、来所者率が大きく減少しております。小児科が充実してきて、同時期に3-6か月児健診もある中、市民ニーズとの乖離を感じておりましたので、この結果をもって、事業の見直しをし、令和7年度からは乳児期全般の一人一人と予約制で時間をかけて相談ができる事業に変更することとしております。

⑧ 5歳児相談は令和6年度から新規実施した事業になります。年中児全員へ、SDQ という、「子どもの強さと困難さをみるアンケート」調査をし、アンケート調査結果や日頃の生活のなかで児の発達について心配があり、相談を希望する人に心理士や保健師が相談を行いました。集団生活上指摘されることはないものの保護者の目線から、なんとなく気になることがある児についての相談が多く、心理士や保健師が相談に応じることで、児の特性を理解し、就学に向けてのよりよい過ごし方について助言ができました。

⑩ 離乳食教室は、新型コロナウイルス感染症拡大期には Web での開催をしておりましたが、令和6年度から参集型の教室を再開し、調理デモや試食を交えた教室運営としました。保護者の試食により言葉では伝えきれない、離乳食の味や硬さなどを感じていただくことができました。

その他の事業につきましては時間の都合上資料に代えさせていただきます。

続きまして、子ども家庭課業務運営指針について説明させていただきます。説明の前に、追加事業及び資料の訂正がございます。本日配布した「健康育児相談」が母子保健係の事業に加わります。また、裏面に訂正箇所を記載させていただきました。資料の精査が足らず申し訳ございません。お詫びして訂正申し上げます。

今回、委員の皆様には母子保健に関する事業をご審議いただくため、指針目次に記載させていただいておりますが、児童相談係と子ども包括支援係が所管する、福祉に関する事業につきましては事業の詳細を省略させていただいておりますのでご了承ください。

指針7ページをご覧ください。子ども家庭課はこども家庭センター機能を有し、昨年度に設置された課となりますが、今年度からはコスモスパレット2階に移転しました。同じフロアに幼児健診のできる部屋を所管し、多くの事業をこちらで運営しております。

8ページの職員の状況をご覧ください。課長、こども家庭センターの統括支援員を兼ねた課長補佐と児童相談係、子ども包括支援係、母子保健係の3係で構成しております。

各係の事業につきましては、17ページの詳細事業一覧をご覧ください。

今年度の重点目標として取り組む事業は、19ページからの5事業となります。

- (1)災害時保健活動（周産期中心）訓練の実施については、11月17日に、助産協定を締結しております、みらいウィメンズクリニック様、千葉県助産師会様との合同訓練を、ふれあい文化館を会場として実施する予定で準備を進めております。
- (2)ヤングケアラー支援体制強化事業、(3)産後ケア事業の体制強化につきましては、児童福祉事業になります。
- (4)プレコンセプションケア事業につきましては、若いうちから男女ともに健康を意識して、望む人には妊娠・出産への適切な準備ができるように支援することで、記載した3つの観点を踏まえ包括的に取り組めるよう、今年度に今後の実施に向けた調整を行っていかうと考えております。
- (5)妊婦健康診査事業について、現在も国の示す時期・検査項目への最大14回分の健診の公費負担を行っておりますが、市独自での上乗せ負担を行っていくべきか検討を開始いたします。

28ページからの詳細事業別令和7年度運営指針につきましては、資料にてご確認ください。

(議長)： 委員のみなさんからご質問はありますか。
質問がないようですので、次の報告に移ります。

報告(2) 第3次健康いんざい21の策定について

(事務局)： 「第3次健康いんざい21の策定について」説明。

(議長)： 委員のみなさんからご質問はありますか。
質問がないようですので、次の報告に移ります。

報告(3) 第2次印西市自殺対策計画の策定スケジュールについて

(事務局)： 「第2次印西市自殺対策計画の策定スケジュールについて」資料に基づき説明。

(議 長)： 委員のみなさんからご質問はありますか。

ご質問がないようですので、以上を持ちまして本日の議題及び報告を終了いたします。

令和7年5月28日

印西市健康づくり推進協議会会長 岩谷 由美